

# 学校だより

川西市立多田小学校  
平成28(2016)年2月1日

## かかわりの中で生きる力を育てる

～あいさつ、あとかたづけ～

2月3日は節分、そして暦のうえでは春を迎えます。日本の伝統行事の節分を通して「自分を見つめ直し、良いところを増やす」心の鬼を追い出し、福を入れる機会となればと思っています。

人とうまくかかわっていく力や、自尊感情をもつということが大切だということをよく耳にします。人は、自分の人生を自らの力で切り拓き、社会の中で生きていきます。人は一人では生きていけません。学校は、自分の良さを見つけ、自分の力を伸ばしていく所です。日々の学習や生活の中で生きて働く知識や技能を身につけ、豊かな心を育てています。友だちや先生、多くの人とのかかわりの中で社会性を育み、生きる力を育てていきます。そこで、大切にしていることは「あいさつ、あとかたづけ」です。

全職員で「あいさつをしましょう」と取り組んでいます。生活委員の子どもたちも毎週火曜日の「あいさつ運動」に取り組んでいます。私も、毎朝門に立って声をかけています。子どもたちだけでなく、地域の方々からも声をかけていただきます。「あいさつ」は人の心と心を繋ぎます。

そして「あとかたづけ」は自分の行動に責任をもつことです。遊び道具の片づけや、学習の後片づけがきちんとできるように指導しています。みんなが気持ちよく生活するためです。

学校だけでなく、家庭や地域でも、人とのかかわりの中で「生きる力」を育てていきたいと思えます。



「礼儀作法は『見た目』の美しさのためにあるように思われがちなのですが、そうではありません。『見た目』を磨くには『心』を磨くことが不可欠です。心を磨くことは、『他人を大切に思う心』でもあります。

面倒なことやしんどいことも毎日続けることが、心を強くし、心を磨きます。そして習慣として身につけていきます。良い習慣を身につけることは、自分を伸ばすためにも大切なことです。

## たくさんの参加ありがとうございました ～ふれあい集会 大成功!!～

地域の皆さん、保護者の皆さん、多田幼稚園の子どもたちと、たくさんの方々に参加いただき、楽しく有意義なふれあいの時間をもつことができました。

各学級の子どもたちが準備してきたゲームや出し物で楽しんでもらいました。どこもよく工夫していました。



地域のお年寄りの方も参加してくれました。お世話していただいたボランティアグループのみなさん、寒い中、受付や巡回していただいたPTA役員のみなさんありがとうございました。

## 落ち着いた学校づくりで、子どもたちの成長を!

学校生活が落ち着いていると、学習や行事などで子どもたちが主人公として活躍する場面が増えます。すると、上級生の頑張る姿や活動に憧れを抱き、それを越えようと意欲を燃やします。そして、子どもたちが自信を持ち成長していくこととなります。

落ち着いた学校づくりの基は、「あたりまえのことを、あたりまえにする」ということです。「あたりまえのことを、あたりまえにする」ということは、心のあり方が大切です。脱いだ靴はきちんと揃っているでしょうか。トイレのスリッパはきちんと出船（かかとを後ろにして）に揃えていますか。スリッパを揃えることもひとつの礼儀作法です。なぜ、脱いだスリッパを出船に揃えるのか、考えてみてください。

すべての作法には、理由があります。理由がわかれば、作法やマナーを忘れてしまったときも、自分で答えを導き出すことができます。トイレのスリッパがきちんと出船にそろえられていることにも理由があります。次の人が使うとき、すぐにスリッパを履ける状態にしておくという心遣いです。

## 優秀賞おめでとう

1月23日(土)「川西市PTCAフォーラム」が文化会館で行われました。

PTA広報誌コンクールでは多田小学校「スターキッズ」が優秀賞を受賞しました。



## 本をいただきました

地域の方から「子どもたちが読んでくれたら」と本をいただきました。「大阪うまいものうた」「シバ犬のチャイ」「大村智ものがたり」の3冊です。子どもたちが興味を持ちそうな本を選んでくださいました。図書室に置いてあります。ぜひ読んでみてください。

